

## 第12回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

日時：平成25年11月20日（水） 午後2時～5時

場所：地域情報センター2階 中会議室

### 1. 「江南市制60周年記念市民公募事業 募集要項」について

- ・市制60周年事業として、補助金を申請するとした場合、何人から団体として認め、活動を許可するか。

⇒江南市地域まちづくり補助事業の場合は、はっきりと2人以上と定めてはいないが、団体であるため2人以上としている。実際に2人で活動できるかとの不安もあるが、2人でも活動していければ、他にも挑戦してみたい人が来やすくなるのではないかな。

⇒人数ではなく、中身の内容で判断すれば良いのではないかなと思う。

団体登録にある会員数は少数であっても、声をかけていく中で協力者が増えていくような人脈がある人もいるため。

⇒人数を記載しないほうが、参加しやすく感じるのではないかなと思う。

⇒申請事業のために集まって、参加してもらうことで、新規団体ができることも考えられる。

⇒社協は3人からとしている。1人では活動の継続が難しく、2人では意見が割れた時に困るためである。

結論：江南市制60周年記念市民公募事業をより多くの人に参加してもらいたい為、“何人以上”とはせず、単に団体であることを要件とする。

- ・補助対象外経費にある、景品や参加賞などをどのように扱うといいかな。
  - ⇒景品があれば、モチベーションも上がりやすく、盛り上がりやすいと思う。
  - ⇒とても魅力がある事業内容でない限り、盛り上がる要素が必要であると思われる。
  - ⇒植物の種や苗などであれば、時間をかけて育成していき、種ができるといったサイクルが出来る為、良いのではないかな。

↓

結論：どのような景品にするかは各団体の判断に任せる。その後、景品としてふさわしいものかを審査員で判断する。

- ・市制60周年事業の審査についても、ぜひ推進委員の皆さんに審査委員としてご参加いただきたいと思う。(事務局)
  - ・審査としては、1次審査の公開プレゼンテーションであり、2次審査は事務局にて行う。事務局は、主に行政経営課になる。(事務局)
  - ・公開プレゼンテーションにおいて審査をお願いしているが、それ以前に提出された書類においても審査していただくことがあるかもしれない。(事務局)
  - ・市制60周年の事業であるため、行政ではなく、市民や市民団体に実行委員会として立ち上げたところがあれば、依頼してみることも良いのではないかなと思う。
    - ⇒もしも市民へ依頼しようとするならば、審査委員のみでなく、会場に来てもらえた人にも審査・投票してもらえれば良いと思う。
    - ⇒記述してもらうことが多い申請書であれば、来場者に審査してもらう方が良い。(面白いプレゼン、動員力のある人でないと、票は集まらない。逆に言えば、その要素を持った団体に来てほしいので、有り難い)
  - ・小さい事業を年間のどこかで行うのではなく、大きい事業を1度行う方が良いと思う。
    - ⇒多くの人へ参加してもらいたいのであれば、その方が効果的であると思う。
  - ・申請や参加が少ない地域の団体へ声をかけていくと良いのではないかな。
  - ・市から補助金をもらっている団体は、市制60周年に参加できるか。
    - ⇒参加できる。事業に対しての補助金である。
- (例) 老人クラブや子ども会
- ・江南市地域まちづくり補助事業においては、今まで行っていた事業内容であれば、お断りをしている。あと少し資金があれば、挑戦してみたい事業に取り組みるといった場合において使用してもらいたい。
  - ・限度額10万円では、少なすぎてやれることも少ないので、20万円で5団体にする方がやれることも増え、多くの方に参加してもらえるため、やりがいがあるのではないかな。
    - ⇒地域協働課だけでは判断できないので、60周年事業の事務局と相談の上、後日回答します。

## 2. 「江南市制60周年記念市民公募事業 募集要項」の冊子について

- ・今回募集する「市民公募事業」のテーマについて、②の内容がよくわからないため、①のテーマだけを記載する方がいいのではないかと。もしくは、応募条件等を記載する方が応募しやすいと思われる。
- ・補助対象団体に、クラブ活動や老人クラブ、サークル活動を行っている人でも参加できることを記載するとわかりやすいと思う。
- ・「市民公募事業」への期待を2番目に持ってきたほうが、読む相手としてはわかりやすいのではないかと。どのようなことが補助対象になるのかを理解しやすい。
- ・自分たちの活動が対象になるかどうかのわかりやすいよう、例としての団体も記載するといいいのではないかと。
- ・団体助成と事業助成の違いをしっかりと伝えることが必要だと思う。
- ・～江南市を探す・磨く・創る～のテーマも変えられるといいいのではないかと。  
⇒中身の内容に合わせて調整していきます。
- ・市制60周年の事業について、他の市民へ宣伝してもいいかと。  
⇒多くの人に話してもらいたい。金額は未定のため、決まり次第報告し、宣伝してほしい。

## 3.NPO・ボランティア講座について

### (1) 「そうだ！交流からはじめよう」について

- ・参加団体は12団体、参加者は36人であった。
- ・普段、なかなか関わる事のない団体同士が交流できた。また、ボランティアに興味があるが、何から始めるといいか迷っている方も参加してもらえたため、相談員や活動団体の方から直接アドバイスすることができる良い機会となった。

### (2) 「みんなで作る補助金申請書の作成講座」について

- ・参加団体は6団体、参加者は27人、展開コースを希望される団体は6団体、連携コースを希望される団体は6団体ほどだった。
- ・江南市の申請用紙を用いた、江南市地域まちづくり補助事業の講座であったため、団体活動の目的や思いを画面にて伝える方法のコツを知ることができ、

よかったとの声があった。

#### 4.その他（事務局より）

- ・応募相談会は、まだ空きがありますので、迷っている方がいましたら、声をかけてもらいたい。
- ・市民・協働ステーションにシュレッターを設置したいと考えていたが、平成26年度当初予算に計上するのは困難な状況になった。
- ・新体育館の建設に伴い、現在、体育館内にある少年センターなどの移設が計画されており、その1つの候補として地域情報センター内を挙げる考え方が存在する。
- ・江南市前飛保町地内において、話し合いの場を提供している「フォーユー」という場所があるので紹介する。喫茶店も営んでいるためお茶を飲みながらの打合せも可能である。
- ・第13回の市民協働・市民活動推進協議会の開催予定は、平成26年3月頃です。日時等が決まりましたらホームページでお知らせします。